

令和5年度島根県立大学人間文化学部  
3年次編入学試験  
保育教育学科 小論文問題 出題意図

2022年11月実施

**出題の意図**

本問題は、御田寺圭 著『ただしさに殺されないために 声なき者への社会論』（大和書房、2022年）所収の、第3章5節「置き去り死」の一部（pp.188-192）より採用した（一部改変）。

この出題を通じて、①私たちの社会は、他者からの望まない関わりを排除・拒絶することにより自由で快適な生活ができる一方、その代償として、いざというときに自分を他者が助けてくれる可能性をも除去してしまったのではないかという筆者の考え方について、どのように・どれくらい読み取ることができるか（読解力、理解力）、②自由な社会における他者との関わり方について、「だれにも邪魔されることのない社会」「おせっかいな他人」「自由で快適な暮らしを享受する個人の権利」「個人主義的な社会生活の便益を最大化するライフスタイル」「自分が必要としているとき以外に声をかけてくる者」など、筆者がその功罪を提示している事象を踏まえ、自分なりの視点を具体的に提示し、論じることができるか（発想力）、③自らの考えを論理的で明快な文章で表現することができるか（論理的思考力、文章表現力）等の観点から、受験者が保育教育学科のアドミッションポリシーの示す「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を有しているかを評価する。